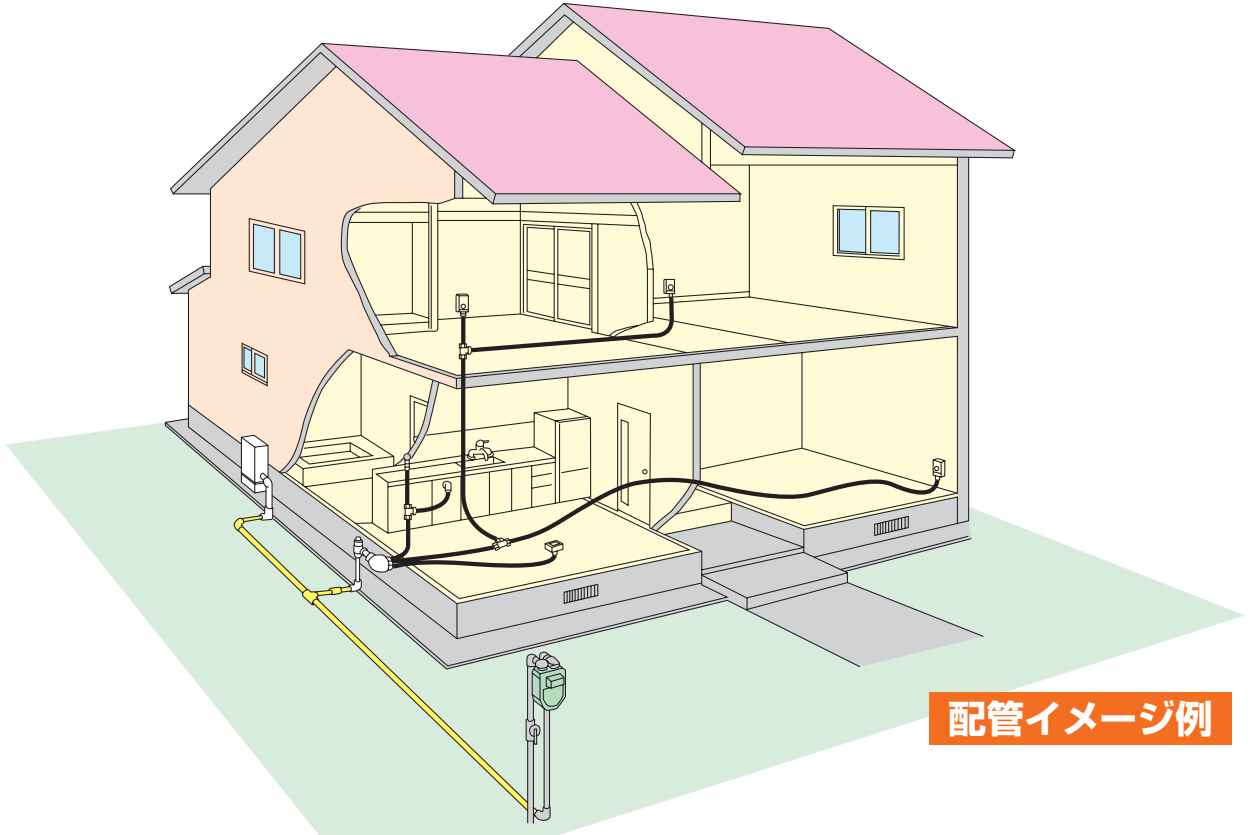


フレキシブル管工法

■フレキシブル管工法はステンレス鋼を薄肉・波型に成形し簡単に曲げられるフレキシブル管（フレキ管）と専用の継手を使って必要なところへ配管する工法で多栓化の推進が容易なうえに

- 建築工期の短縮化への対応
- 配管場所の狭小化への対応
- 耐震性・安全性の確保

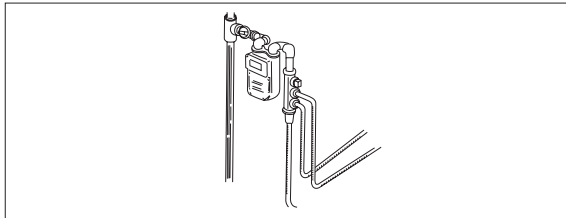
といった現代の要請に応え、また、新たに開発された「ワンタッチフレキ管継手」をはじめ、各種継手・材料が用意されており、新築・増改築や戸建・集合住宅あらゆる配管に採用できる工法です。



配管イメージ例

フレキシブル管

FP-00



呼 び	入 数			
	都市ガス		LIA 検定品	
	30m	60m	30m	60m
8A	1			
10A	1	1	1	1
15A	1	1	1	1
20A	1	1	1	1
25A	1	1	1	
32A	1			

ポリエチレン管

フレキシブル管

鋼管

铸铁管

導管保全

配管作業工具

給湯給水樹脂管

ネオジョイント

より安心して施工できる
新しい継手

■特長

I. 谷シール方式

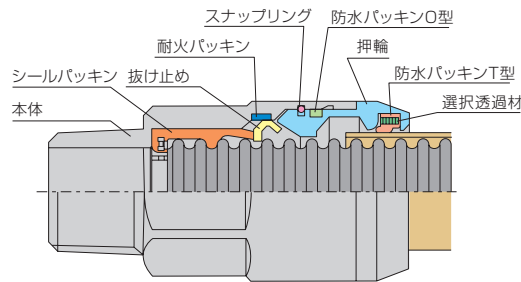
フレキ管の山の谷部(凹部)をパッキンシールする方式で、外的要因を受け易い山部(凸部)をシールする方式より安定したシール品質を保ちます。

II. 安全機構

フレキ管の挿入が完了しないと施工が完了せず、施工途中のミスを防ぎます。



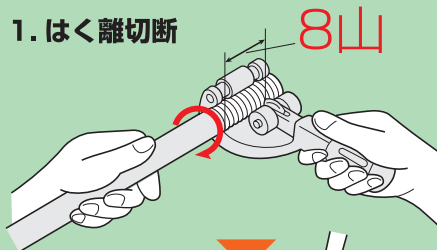
■構造図



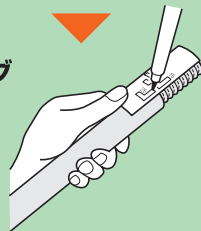
■施工イメージ

正しい施工については施工要領書に基づいて行って下さい。

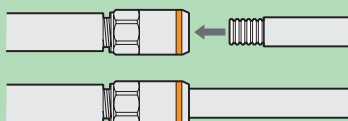
1. はく離切断



2. マーキング

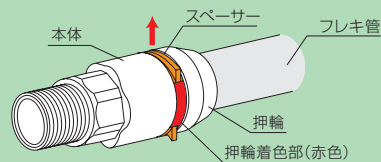


3. ネオジョイント接続

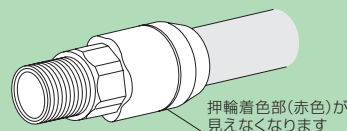


奥に突き当たるまで
(挿入不足のときは押輪が押し込めません)

4. スパースの取り外し



5. 押輪の押し込み



6. 引張って接続確認

フレキ管を引張り抜けを確認します。

